

ぽかぽか ドキュメンテーション

(5月園だより No.2) 日出みみょう保育園



ひよこ組のKちゃんは、身近にある音の鳴る玩具を見つけると、手や足に力を入れ、床をぎゅーっと蹴り、玩具に触れようと一生懸命前進しています。玩具に手が触れると、満面の笑みで保育者の方を見つめるKちゃん。

「すごいでしょ。」とまるで私たちにお話ししてくれているようです。

あっどんぐりのかわ!!



らいおん組のY君は、砂場で遊んでいると突然「あっ!!」と大きな声を…。側にいた保育士の顔をじっと見つめ「どんぐりのかわ!!」と嬉しそうに教えてくれていました。

きっと昨年の秋に遊んだどんぐりの破片が砂場の中に残っていたのでしょう。Y君の「み〜つけた!」に顔を見合わせて笑い合った瞬間でした。

進級・入園から1カ月が過ぎました。4月当初は、保護者の方と離れると不安いっぱい泣いていた子どもたち。保護者の方も、毎朝泣く我が子の姿に、後ろ髪ひかれる思いだったのではないのでしょうか?

今までと違う環境の中で、子どもたちの心にも様々な葛藤があったことと思います。しかし、日々共に過ごすうちに、MちゃんやY君のエピソードのように、子どもたちが側にいる私たちに心通わせてくれる瞬間が増えてきました。私たちは、この瞬間の関わりを大切に、どんな時も「側にいるよ」「見てるからね」というまなざしを送り、子どもたちが心から安心して過ごせるようにしていきたいと思っています。

また、乳児期にたくさんの人と関わり、たくさんの愛情を受けることで子どもたちは愛情という土台を基盤に、見たり、聞いたり、触れたりと自ら様々なものや人に関わり、その中で気づいたり、感じたり心動かしていきます。そんな子どもたちの心を動かし、学び育つ姿を今年度は、園だより

No.2 “ぽかぽかドキュメンテーション”として、つぶやきや写真を取り入れて保護者の方にお知らせしていきたいと思っています。楽しみにしててくださいね。

乳児園 主任